



団体名 ハピサンBooks 「本箱ワークショップ」

■活動の内容

本を介したコミュニティの形成、また、幅広い年代が集える場を作ることを目的とした活動をされているハピサンBooks。その小さなコミュニティづくりがまちづくりへと繋がる！ということで、本を中心に様々な発信をされています。

今回は活動の中心地「街と珈琲」でのイベント、本箱ワークショップを視察しました。

- 日時 令和5年1月22日（日）
- 場所 街と珈琲（南区呼続学区）
- 参加 5組 *事前申込制



【街と珈琲】

「ひとはこ図書館」の提案として、机やイスにもなる箱型の本箱をDIYするワークショップ。「ひとはこ図書館」とは、まず家の軒先に作成した【ひとはこ本箱】を置き、そこにある本の貸し借りや会話を通じ小さなコミュニティを生み、さらにそれらが後に地域に大きく円状にひろがっていく足がかりとなる活動。団体はそのワークショップを定期的実施しています。今回も小さなお子さんとお母さんが一緒に参加され、慣れない手つきながら、とても興味深そうに楽しく作業をされていました。皆さん持ち帰り、ご自分の地域で活用されるかと思えます。どんな本が並ぶのか・どんな交流が生まれるか楽しみです。また、カフェの中にも沢山の本が並べられ、本を介しての地域住民の集いの場が形成されており、地域に根付き、大きく広がっていると感じました。



【店の軒先に置かれたひとはこ本箱】

新しい活動拠点【街と珈琲】沢山の本と共に、「カフェの中の商店街」活動も地域に浸透しています。今回のワークショップは【街と珈琲】駐車場で行われました。



【本箱作成風景】

